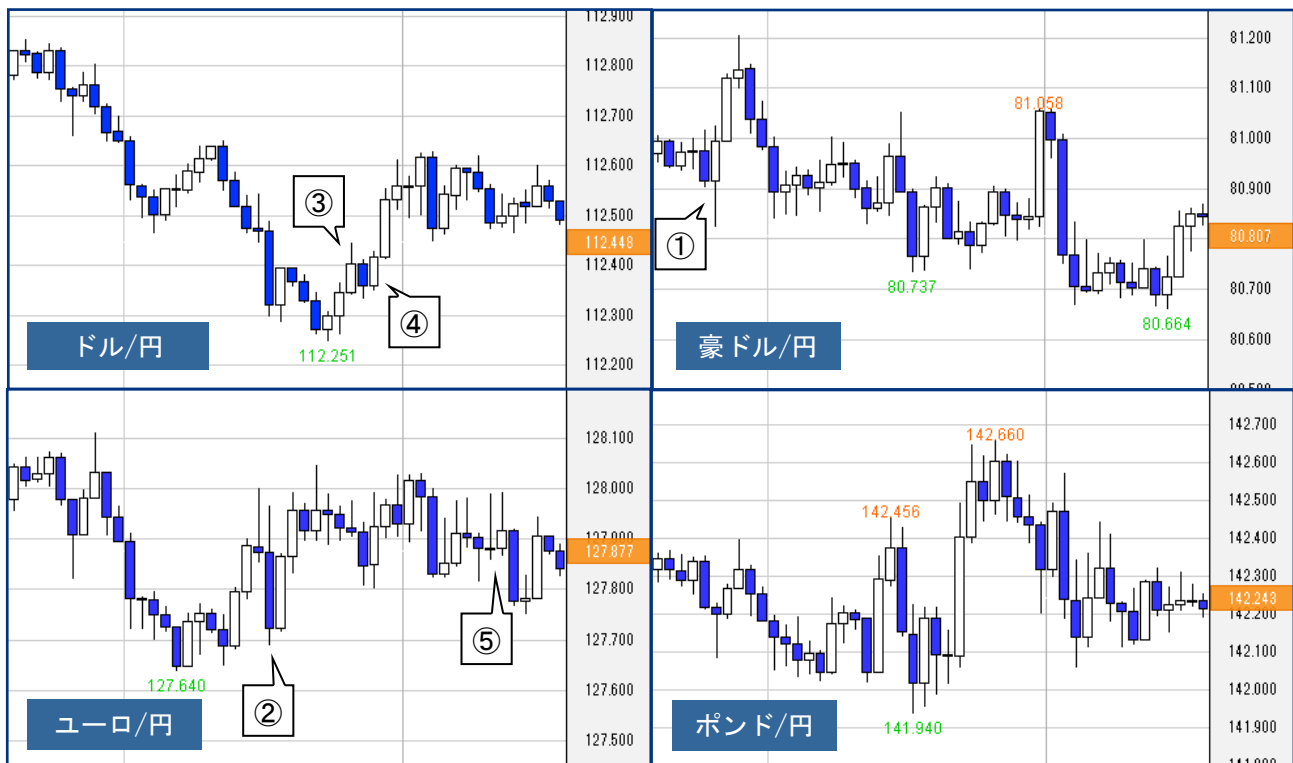


12月19日(水曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

年内最後のビッグイベントFOMC

18日(火)の為替相場



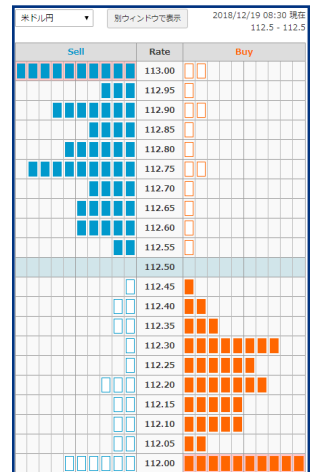
期間: 18日(火)午前7時10分~19日(水)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所: 外為どっとコム

- ① 12月4日に行われた豪中銀(RBA)理事会の議事録が公表された。「家計所得の伸びは依然低水準で、家計債務は高水準となっており、住宅価格が下落したことから、家計消費見通しが引き続き不透明要因となっている。理事会メンバーは、これら要因が相まって下振れリスクになると指摘した」と指摘しつつも、「それでも、労働市場の継続的な堅調と賃金の伸びの緩やかな加速が、消費の安定的な伸びを支えるという主要見通しには変わりはない」、「次の金利変更は、下向きよりも上向きの可能性が高いとの認識で引き続き一致した。ただ、金融政策を目先変更する強い根拠はない」などとする見解が示された。
- ② 独12月IFO景況感指数は101.0と市場予想(101.7)および前回(102.0)を下回った。なお、同指数の低下は4カ月連続で、水準は2年ぶりの低位に落ち込んだ。
- ③ トランプ米大統領は「米金融政策当局者は再び過ちを犯す前に今日の(利上げ休止を論じた)WSJ紙を読んだほうがいい」などとツイート。改めて米連邦公開市場委員会(FOMC)の利上げをけん制した。
- ④ 米11月住宅着工件数は、年率換算125.6万件と、市場予想(122.6万件)を上回った。また、同住宅建設許可件数も132.8万件と予想(126.0万件)を上回った。
- ⑤ イタリア財務相当局者が、同国の2019年予算案を巡り欧州委員会と合意した事を明らかにした。ただ、ユーロの反応はごく僅かであった。

18日(火)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
21115.45 ▼391.43	5589.469 ▼68.804	2576.649 ▼21.325	6701.59 ▼71.65	10740.89 ▼31.31
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
23675.64 △82.66	0.0260% ▼0.0150	2.419% ▼0.025	1.280% △0.014	0.244% ▼0.012
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.6439% ▼0.0477	2.8175% ▼0.0396	46.24 ▼3.64	1253.60 △1.80	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	111.600-113.200	127.20-128.700	80.200-81.500	141.500-143.100

【ドル/円】

昨日のドル/円は一時112.20円台まで下落する軟調な展開。ただ、その後は買い戻しが入り、100日移動平均線を回復してクローズするなど底堅さも見られた。100日移動平均線は5月以降の上昇トレンドをサポートしてきた重要なラインであり、これを維持できるかが本日の焦点だろう。カギとなるのは米連邦公開市場委員会(FOMC)だ。0.25%の利上げは概ね織り込み済みであり、市場の関心は2019年の政策運営スタンスに向けられている。具体的には、経済・金利見通しで示される成長率予測や利上げペースに関する予想の他、パウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長の記者会見などが見どころとなる。近い将来の利上げ休止を示唆したと市場に受け止められるハト派な内容ならドルが売られる事になるが、株価が大きく上昇すれば円売りに繋がる可能性もある。一方で、市場の期待ほどハト派化しなかった場合は、ドル高・株安からの円高という反応もあり得るだろう。いずれにしても、今回のFOMCに対する市場参加者の関心は極めて高い。それだけに、為替、株、金利の各市場が大きく変動する可能性がある。日本時間午前4時という早朝ではあるが、年内最後のビッグイベントであるFOMCを注視しておきたい。

執筆者: 神田

本日および明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
12/19(水)	10:10		(日)日銀国債買入れオペ(5-10年)	—	—
	16:00		(独)11月生産者物価指数(前月比)	+0.3%	-0.1%
	18:30	○	(英)11月消費者物価指数(前年比)	+2.4%	+2.3%
	18:30	○	(英)11月消費者物価指数(コア・前年比)	+1.9%	+1.8%
	18:30		(英)11月生産者物価指数(前年比)	+3.3%	+3.0%
	18:30		(英)11月小売物価指数(前年比)	+3.3%	+3.2%
	19:00		(ユーロ圏)10月建設支出(前月比)	+2.0%	—
	22:30		(米)7-9月期四半期経常収支	-1015億USD	-1250億USD
	24:00		(米)11月中古住宅販売件数	522万件	520万件
	24:30		(米)EIA週間原油在庫統計	—	—
	28:00	◎	(米)FOMC政策金利発表	2.00-2.25%	2.25-2.50%
	28:00	◎	(米)FOMC経済・金利見通し発表	—	—
	28:30	◎	(米)パウエルFRB議長、記者会見	—	—
12/20(木)	09:30	○	(豪)11月新規雇用者数	+3.28万人	+2.00万人
	09:30	○	(豪)11月失業率	5.0%	5.0%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。